

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年1月20日

提出区分	実績	整理番号	10	課題区分	C			
横断的な課題	地域防災力・減災力の強化							
地域重点政策	1 地域の強靱化						木曾地域振興局	
実施機関	木曾保健福祉事務所			担当課	所属	総務課		
事業名	災害時保健医療福祉活動の連携強化事業				電話	0264-25-2231		
					E-mail	kisocho-somu@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	災害時において、保健・医療・福祉の各分野が連携し、迅速かつ的確な被災者支援を実施できる体制を構築する。 特に、県災害対策本部のもとに「保健医療福祉調整本部」を設置し、医療チームの派遣調整、情報収集・分析、避難所支援などを一元的に行う体制を整備することで、地域の防災力・減災力を強化する。						
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 県では令和6年度から「保健医療福祉調整本部」の整備を開始したが、運用体制や関係機関との連携は未確立。 災害時には「誰が指示するか分からない」「情報が錯綜する」「支援受け入れが困難」といった課題が顕在化。 昨年度の訓練では情報伝達手段の多様化(衛星携帯、LINEオープンチャット等)を試行し、一定の成果を得たが、実地運用には課題が残る。 防災物品の老朽化や備蓄不足も対応力低下の要因となっている。 						
	内容 (変更後の内容)	1 研修会の開催(令和7年11月12日予定) (1) 講義:「大規模災害時の保健医療福祉活動体制について」 (2) 見学:「ドローン活用による迅速な対応と物流支援」 (3) 机上訓練:「初動期～急性期における活動体制の確認(発災後1～6時間)」 2 訓練内容 (1) 想定災害:木曾地域を震源とする震度6強の地震 (2) 参加予定機関:町村、広域消防、木曾警察署、木曾広域連合、長野県災害対策本部木曾地方部等 (3) 保健医療福祉調整本部の運用訓練:情報伝達・派遣調整・避難所支援の流れを確認						
	事業期間	令和7年10月1日			～	令和7年12月28日		
費事業	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考				
	総合防災研修会・訓練	県災対本部木曾地方部や町村などと連携した研修会等の開催	393,308					
	合計		393,308					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	研修会参加機関数		10機関以上	12	● 達成			
	保健医療福祉の防災体制に関する理解度(参加者アンケート)		70%以上	76.20%	○ 一部達成 ○ 未達成			
事業実績・成果	【実績】 ・訓練に向け、保健福祉事務所・地域振興局等と複数回の打合せを行い、役割分担や情報伝達方法を調整した。 ・11月12日に木曾合庁で図上訓練等を実施し、災害時の初動対応や調整本部体制の確立、町村との情報伝達を確認した(参加者55名)。 ・防災情報システムやオクレンジャー入力確認を行い、災害時おたすけBOXを庁舎に設置し、災害発生時にも対応できる体制を整備した。 【成果】 ・アンケート結果では総合満足度4.10(5点満点)、図上訓練の理解度は約80%で、災害時の調整本部の動きや町村連携について理解が深まった。 ・保健医療福祉調整本部の役割分担や初動対応の流れを確認でき、災害時の体制整備に向けた課題を共有できた。 ・「図上訓練の時間延長」「情報集約方法の明確化」など改善点が抽出され、情報担当者の確保が重要であることを再認識した。							
今後の方向性	・災害急性期における医療・福祉分野の連携強化を目的に、DMAT・DWAT等の専門チームの役割や地方本部の設置・運営方法に関する研修を実施する。 ・災害時の情報共有・意思決定を円滑化するため、クロノロジー(経時活動記録)の作成演習を行い、災害保健情報システム等を活用した情報収集・分析手法を習得する。 ・訓練で抽出された課題(情報集約方法の明確化、図上訓練時間の確保、役割分担の事前周知)を改善し、迅速かつ的確な対応体制を構築する。							